

施策名 歩く魅力のあるまちづくり

1341 所管局: **建設局** 共管局: **都市計画局**

概要 まちの美化, 自然・歴史的な景観の保全, 市街地の町並み整備, 道路のバリアフリー化に取り組み, 安全快適で歩く魅力のあるまちづくりを推進する。

総合評価 B (B) 客観指標評価は, 道路バリアフリー化計画の実施済地区数が目標を達成したものの, 歩道の整備延長が大変悪い状況であり, 全体としてはどちらとも言えない。市民生活実感については, 歩いて楽しいまちであるとの実感が高くやや良い状況にある。総合評価としては, 両評価を総合的に勘案し, この施策の目的がかなり達成されていると評価する。

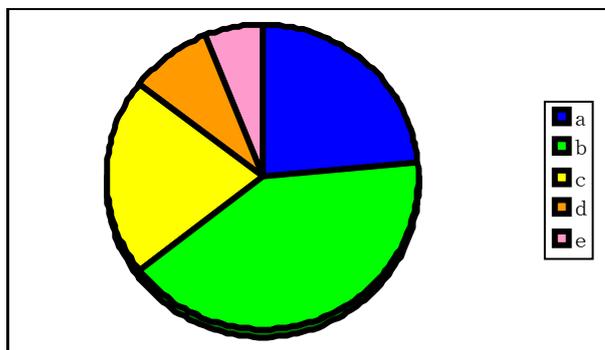
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 c (b)

指標名	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
歩道の整備延長(m)	5760	1170			e
放置自転車等の台数(台)	9994	8391	7048	84.0%	b
(準)景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積(数値は別掲)					c
(準)歴史的意匠建造物件数(件)	107	107			c
(準)外観上の特徴が残り建物状態が良好な京町家の割合(%)		26			-
(準)バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合(%)	10.6	25.5			b
(準)道路のバリアフリー化計画の実施済地区数	2	4	2	100.0%	a

○この施策に関する市民生活実感評価

京都市は, まちの美しさや賑わいなどにより, 歩いて楽しいまちである。



答a: そう思う	135	23.5%
答b: どちらかというと思う	235	40.9%
答c: どちらとも言えない	121	21.1%
答d: どちらかというと思わない	48	8.4%
答e: そう思わない	35	6.1%
有効回答数	574	
市民生活実感評価		b (a)

<参考>この施策実現のための主な事業

- 事業名**
- 公衆便所整備
 - 快適トイレのモデル導入
 - 歴史街道計画の推進
 - 交通施設バリアフリー化設備整備費補助
 - 交通バリアフリー基本構想策定
 - 看板等路上物件適正化事業
 - 通行支障柱移設
 - 伏見南浜地区まちづくり総合支援事業
 - 交通安全施設等整備
 - 電線類地中化
 - (従)「世界一美しいまち・京都」の推進
 - (従)放置自転車等対策
 - (従)放置自転車対策(緊急雇用)